

JIU JITSU TODAY

[ジウジツトゥデイ]

VOL.

03

2022 FALL

ART.2 ART CHALLENGE.1

詳細レポート & 全試合結果掲載



ASJJF & SJJF大会レポート

TOKYO SPRING
JAPANESE OPEN / U-15 KIDS
KYUSHU INTERNATIONAL / NEXUS GAMES
EAST JAPAN / TOKYO SUMMER
DUMAU INTERNATIONAL
柔術甲子園
ALL JAPAN

Interview

鈴木颯真 / 谷口 実

柔術の未来のために—
株式会社イサミ 代表取締役社長

磯 毅寛

X-TREME EBINA代表
柳澤哲裕

NEW 新商品

RISING 柔術着

従来より
さらに軽量で、
細身な柔術着。

詳しくは
こちら



ISAMI
公式オンラインサイト

モデル
CARPE DIEM MITA所属
高橋 逸樹選手

colors



白



黒



青



紺

JJ-800 RISING柔術着 サイズ/A0~A3 白¥15,180(税込) 黒/青/紺¥16,280(税込)

SJJIF 会長ジョアオ・シウバよりご挨拶

Greeting



We are looking forward to your continued support as we continue forward with the SJJIF mission which is to promote the growth of BJJ, collaboratively working together in its development while providing the growing sport community with fair, friendly, inclusive and rewarding competitions under federations created by BJJ practitioners for BJJ.

We are looking forward to seeing you at our upcoming events and count with your support! The 2023 SJJIF season will have events in all continents with exciting news coming soon. Stay tuned and connected by following SJJIF via its various social media platforms and for all SJJIF members by accessing the SJJIF forum.

Stay safe, healthy, and on the mats.

Best Regards,

私たちは柔術家が柔術のために作った連盟のもとで柔術の成長を促進し、その発展のために協力し合い、成長するスポーツコミュニティです。公正でフレンドリー、包括的で実りある大会を提供するというSJJIFの使命を前進させるため、皆様の継続した支援を期待しています。

私たちは今後のイベントで皆様にお会いできることを楽しみにしています。2023年のシーズンには、すべての大陸でSJJIFによるイベントが開催され、エキサイティングなニュースを近日中に発表する予定です。SJJIFの各種SNSや、ウェブサイトにアクセスすることで、私たちの活動を知ることができますのでぜひアクセスしてください。

そして安全に健康でマットに上がってください。

よろしくお願ひします。



SJJIF 会長

ジョアオ・シウバ

SJJIF ORGANIZATION CHART

SJJIFは“柔術をオリンピック競技に！”をスローガンに掲げて、世界各地で柔術の競技大会の開催や普及活動に取り組んでいます。

SJJIF(スポーツ柔術国際連盟)の組織図



ス ポーツ柔術国際連盟は2013年にアメリカを拠点として設立され、柔術の普及とオリンピック種目への採用を目指しています。

これらを実現するため、SJJIFは各大陸に連盟を設けており、ASJJFは、アジア各国における啓蒙活動と柔術大会の運営、プロモーションを担っている

団体です。

SJJJFは国別連盟にあたり、ASJJFの統括の下に日本での大会運営などを中心に活動を広げています。

ASJJF & SJJJF 大会レポート

Report

2回目の開催となったART.2と同日開催され大きな話題となったART CHALLENGE.1
そして全国から600人以上が参加し、熱戦が繰り広げられた全日本選手権など
精鋭たちによるハイレベルな戦いの数々を紹介します！



ART.2
ART CHALLENGE.1
TOKYO SPRING
JAPANESE OPEN

U-15 KIDS
KYUSHU INTERNATIONAL
NEXUS GAMES
EAST JAPAN

TOKYO SUMMER
DUMAU INTERNATIONAL
柔術甲子園
ALL JAPAN

ART.2

DATE:2022年3月26日(土)

VENUE:GENスポーツパレス(東京・大久保)

ASJFF 主催のプロ柔術「ART.2」が第2回目の開催。前回同様にプロマッチならではの豪華カードが多数実現。パラ柔術やキッズ、さらにノーギもあり大いに盛り上がった。

**黒帯トップ対決に色帯、女子、キッズまで、
バラエティに富んだ顔触れが揃って華やかなプロマッチが盛り上がった**



アダルト黒帯ライトフェザー
 ×井手智朗(X-TREME柔術アカデミー)vs
 ○チアゴ・ウエノ(IGLOO)

この初対決は本戦で決着つかずサウンデスに突入し、チアゴが引き込みからのスリーブを決めて勝利した。



アダルト黒帯ミドル
 ○グラント・ボグダノフ(ALMA FIGHT GYM LIFE)vs
 ×山下康一郎(CARPE DIEM FUKUOKA)

事前に「3分以内に極める」と予告していたミッションを遂行したグラントは2:37 ヒザ十字で極めている。



ノーギ・マスター黒帯ミドル
 ○高本裕和(高本道場)vs
 ×濱岸正幸(CARPE DIEM)

もはや名勝負数え歌的なこのノーギマッチは高本がポジショニングで圧倒も濱岸を極めきれず。結果は9-0で高本が完封勝利。



アダルト茶帯フェザー
 ○鈴木和宏(トライフォース)vs
 ×清水大樹(マスタージャパン)

鈴木はアダルト、清水はマスターの全日本王者という全日本王者対決はアダルト王者の鈴木が1:33 腕十字を極めての秒殺だった。



アダルト茶帯フェザー

× 上久保周哉(頂柔術) vs
○ ダニーロ・ハマザキ(CARPE DIEM)

茶帯デビュー戦のダニーロはMMAファイター上久保相手に奮闘。スタンドの攻防で終盤にテイクダウンを決め2-0で勝利。



アダルト茶帯ライトフェザー

○ 高杉魁(ALMA FIGHT GYM HOMIES) vs
× 村田航平(CARPE DIEM)

この試合が茶帯デビュー戦の高杉は軽量級らしいキレのある動きで村田を圧倒。最後は5:41 三角絞めを極めてフィニッシュ。



パラ柔術スペシャルマッチ

○ 河野聖也(エストレーラ柔術ジム) vs
× 鴨脚知永(総合格闘技道場コブラ会)

ART.1に続き今回も組まれたパラ柔術マッチ。この試合はパスを決めた河野が3-2で勝利し、大会後に紫帯昇格となっている。



アダルト紫帯ライトフェザー

○ 木村謙太(トライフォース大阪) vs
× 橋本圭右(フィジカルスペース)

関西から参戦の木村がプロレスでも活躍中の橋本からテイクダウン & パスを奪い5-0で勝利した。橋本はガードにやや難がある印象。



アダルト紫帯ライトフェザー

○ 澤井雅登(トライフォース) vs
× 鶴丸雅祥(TATORU)

本戦 & 延長戦で20分以上にも及ぶ激闘となったこの試合はサウンデスでスイープを決めた澤井が競り勝った。



アダルト青帯ルースター

○ 大野智輝(CARPE DIEM) vs
× 鈴木颯真(マルスジム)

まだ中学を卒業したばかりの大野がARTチャレンジ.1に続いて昼夜連続参戦となる鈴木を圧倒し15-0という大差で判定勝ち。



女子アダルト青帯ミドル

× アヌミ・カナシロ(ボンサイ柔術) vs
○ 澤井佑夏(CARPE DIEM ASHIYA)

澤井が師匠である岩崎正寛から必殺技のディープハーフを受け継ぎ、それを3回も決めて6-0で勝利、さすがのキレだった。



ティーン黄帯ライトフェザー

○ クリスチャン・マツオ(カールストヨタ) vs
× 柴野基(野武士)

ASJJF & SJJJF大会の常連のクリスチャンは常に好成績を収めており伸び盛り。この試合でも0:59 キムラを極めて一本勝ちした。



ジュニアティーン黄帯ライトフェザー

○ 岩澤新(CARPE DIEM) vs
× 白石遼一(野武士)

ARTはキッズマッチも取り入れている。ASJJFキッズランキング1位の岩澤が急速出場となった白石から1:59 RNCを極めた。



前回同様に配信も実施し、実況はセラチェン春山、解説は大柳敬人が務めた。ここにゲスト解説としてRIZINアンバサダーのくるみが参戦。自身も柔術をやっておりコメントの受け答えも適切で好評だった。

ART CHALLENGE.1

DATE:2022年3月26日(土)

VENUE:GENスポーツパレス(東京・大久保)

初の試み「ART チャレンジ .1」は一般参加可能なセミプロマッチ。「ART」と同じシチュエーションで試合できるのはいいい記念になっただろう。今大会は今後も継続開催されていく予定だ。



アダルト黒帯ライト

○ジエゴ・エンリケ (CARPE DIEM) vs
×後藤拓磨 (Flow Jiu Jitsu Sendai)

「ART」本戦で組まれてもおかしくない好カードはジエゴが4-0で勝利。後藤の奮闘ぶりは評価したいが、そろそろ結果が欲しい。



マスター 3黒帯ウルトラヘビー

×橋本貴 (パラエストラ吉祥寺) vs
○中村祐次郎 (RRT)

橋本と中村の重量級対決は中村がハンマーチョークを極め、0:47で瞬殺。「作戦がうまくハマった」とコメント。



マスター3黒帯フェザー

×マルコス・ナカムラ (Impacto Japan BJJ) vs
○河村英知 (ALMA FIGHT GYM HOMIES)

マルコスはレフェリーとしてもお馴染みだが戦績はいまひとつ。今回も河村のクローズドからのスリーブ&マウントで0-6で敗れた。



マスター3茶帯フェザー

×堀田祐介 (ALMA FIGHT GYM HOMIES) vs
○武元具視 (パラエストラ和泉)

名古屋の堀田と大阪の武元の対戦はガードからオモブラッタを決めてスリーブに成功した武元が4-2で制した。



アダルト紫帯スーパーヘビー

○谷口実 (RBアカデミー) vs
×セス・サレット (AXIS)

ライバル関係にある谷口とセスの定番マッチは得意のディープハーフからのスリーブを3回も炸裂させた谷口が6-0で快勝。

メインは「ART」本戦で

組まれてもおかしくない

豪華カード

試合はジエゴが盤石の強さでV



アダルト茶帯スーパーヘビー

○市川公貴 (トライフォース五反田) vs
×コリン・エディントン (IVAN SAKAMOTO BJJ)

沖縄に駐屯する米兵柔術家のコリンと「ART.1」にも出場していた市川の対戦は市川が4-2で勝利しテクニシャンぶりを見せた。



女子ブレイクイン黄帯フェザー

○高本珠緒(高本道場)vs
×吉村千葉(X-TREME EBINA)

父裕だけでなく息子&娘たちが揃って柔術家をやっている高本一家の末娘、珠緒が10-0で勝利。敗れた吉村も今後に期待。



女子アダルト青帯ライトフェザー

○木村由菜(アラバンカ柔術アカデミー)vs
×ゴン・ユウ(ALMA FIGHT GYM HOMIES)

今大会で2試合に出場の木村はどちらも腕十字を極めて一本勝ち。まだ中学生の木村、今後も伸びていこう。



アダルト青帯ルースター

○鈴木真真(マルスジム)vs
×萩野貴旺(藤田柔術)

はるばる北海道から遠征出場の鈴木が1:23、三角絞めを極めて勝利、夜の部の「ART.2」に向けて弾みをつけた。



ティーン黄帯ルースター

○エンゾ・ヤマザト(カーロストヨタBJJ)vs
×石原翔(X-TREME EBINA)

エンゾとエンリケのイマザト兄弟の兄エンゾがサンドネスの延長戦に突入も、そこで腕十字を極めた。



マスター 6紫帯ヘビー

×中山勝巳(ミューズ柔術アカデミー)vs
○木下徹(チームレグナム)

遠隔近郊のアラ還柔術家の中山と関西のベテラン木下の50代対決はサンドネスで木下がバックを奪って劇的勝利。



アダルト青帯ライト

○鈴木淳斗(草柔会仙台)vs
×シーザー・ゴンザレス(AXIS)

毎月何かしらの大会に出ているメキシコ人のシーザーだが、この試合では鈴木にスリーブされ0-2で敗退した。

「ART チャレンジ .1」 公式結果

■第25試合 アダルト黒帯ライト
○ジェゴ・エンリケ(CARPE DIEM)
(4-0)
×後藤拓磨(Flow Jiu Jitsu Sendai)

■第24試合 アダルト茶帯スーパーヘビー
○市川公貴(トライフォース五反田)
(4-2)
×コリン・エディントン(IVAN SAKAMOTO BJJ)

■第23試合 マスター 3黒帯ウルトラヘビー
×橋本真(パラエストラ吉祥寺)
(0:47 絞め)
○中村祐次郎(RRT)

■第22試合 マスター 3黒帯フェザー
×マルコス・ナカマ(Impacto Japan BJJ)
(0-6)
○河村英知(ALMA FIGHT GYM HOMIES)

■第21試合 マスター 3茶帯フェザー
×樫田祐介(ALMA FIGHT GYM HOMIES)
(2-4)
○武元具規(パラエストラ和泉)

■第20試合 アダルト紫帯スーパーヘビー
○谷口美(ARBAアカデミー)
(6-0)
×セス・サレット(AXIS)

■第19試合 アダルト紫帯ライト
○小早川隆史(上野御徒町ブラジリアン柔術部)
(2:50 絞め)
×ヴィンシウス・アラカキ(Impacto Japan BJJ)

■第18試合 ジュニアティーン灰帯フェザー
×樫太亮(ゴゴナクラブジム)
(0-2)
○サム稚也(CARPE DIEM JIYUGAOKA)

■第17試合 女子ブレイクイン黄帯フェザー
○ジェゴ・エンリケ(CARPE DIEM)
(10-0)
×吉村千葉(X-TREME EBINA)

■第16試合 女子アダルト青帯ライトフェザー
○木村由菜(アラバンカ柔術アカデミー)
(2:39 腕十字)
×ゴン・ユウ(ALMA FIGHT GYM HOMIES)

■第15試合 アダルト青帯ルースター
○鈴木真真(マルスジム)
(1:23 三角絞め)
×萩野貴旺(藤田柔術)

■第14試合 キングダーゲータン白帯ライトフェザー
○見玉幹平(SPLASH)
(サンドネス)
×池田勇(CARPE DIEM)

■第13試合 ティーン黄帯ライト
×橋本太朗(パラエストラ拜島)
(1:12 三角絞め)
○ディアルマ・カズ・スズキ(カーロストヨタBJJ)

■第12試合 ブレイクイン灰帯フェザー
○宮城壮一郎(フリーダムオズ)
(0:49 RNC)
×松岡龍(パラエストラ川崎)

■第11試合 ユース灰帯ライトフェザー
○上田豪(X-TREME EBINA)
(サンドネス)
×見玉幹平(SPLASH)

■第10試合 ティーン黄帯ルースター
○エンゾ・ヤマザト(カーロストヨタBJJ)
(サンドネス 腕十字)
×石原翔(X-TREME EBINA)

■第9試合 マスター 6紫帯ヘビー
×中山勝巳(ミューズ柔術アカデミー)
(サンドネス)
○木下徹(チームレグナム)

■第8試合 マスター 3紫帯ライトフェザー
×東田朋洋(QUIP)
(サンドネス)
○堀井慎也(RBアカデミー)

■第7試合 マスター 1青帯ヘビー
○ヌメル・フグロア(Impacto Japan BJJ)
(2-0)
×間澤寿和(ねわざワールド運田)

■第6試合 アダルト青帯ライト
○鈴木淳斗(草柔会仙台)
(2-0)
×シーザー・ゴンザレス(AXIS)

■第5試合 マスター 1紫帯ミドル
×轟神刀(Team KATANA)
(サンドネス)
○ロベルト・マツオ(カーロストヨタBJJ)

■第4試合 アダルト青帯ライト
×丸田雄一朗(飛翔塾)
(2:59 腕十字)
○柳葉智博(上野御徒町ブラジリアン柔術部)

■第3試合 女子アダルト青帯フェザー
×ライラ・ホシャ(Impacto Japan BJJ)
(1:38 腕十字)
○木村由菜(アラバンカ柔術アカデミー)

■第2試合 アダルト白帯ライトフェザー
×石川賢汰(ねわざワールド運田)
(0-4)
○安達稜太(CARPE DIEM JIYUGAOKA)

■第1試合 マスター 5白帯ミディアムヘビー
×入澤宏彰(アンビシャス柔術アカデミー)
(0-8)
○本田雅一(PATO STUDIO)

TOKYO SPRING 2022

DATE:2022年3月27日(日)

VENUE:GENスポーツパレス(東京・大久保)

SJJJFの春の祭典・トーキョースプリングはART.2 & ART チャレンジ .1 参戦選手もエントリーし、賑やかな大会となった。黒帯の試合も多数実現している。

マスター黒帯でベテラン勢が活躍 松村、クレイトン、エジソンらの 指導者らも試合で魅せた



持ち前の粘り強さでドロ臭い試合をしながらも2試合を勝ち抜いて金メダル獲得の石田浩(頂柔術)はマスター3黒帯フェザーの3人巴戦を制して優勝だ。



マスター4黒帯ミドルのワンマッチ決勝戦でウピラジャラ・ユキモト(Impacto Japan BJJ)から勝利した小岩健一(トライフォース)が優勝を果たす。



今大会で唯一のアダルト茶帯マッチはコリン・エディントン(IVAN SAKAMOTO BJJ)と藤田大(パラエストラ千葉)の初対決でコリンが勝利してワンマッチ決勝戦で快勝。



キッズ育成に力を入れている松村威(野武士)がマスター2黒帯ヘビーで優勝。松村は指導者としても選手としても素晴らしい活躍ぶりだった。



コロナ禍で試合の機会がなかったクレイトン・モノエル(Impacto Japan BJJ)が試合復帰し相変わらずの強さを見せ、マスター2黒帯のウルトラヘビー&オープンクラスを制しWゴールド。



マスター5黒帯ライト決勝戦、エジソン・カゴハラ(Over Limit BJJ)と福地朝武(ねわざワールド品川)の試合は福地が試合中に負傷し試合続行不可で棄権、エジソン勝利も不完全燃焼の様子。



マスター4黒帯オープンクラス決勝戦、ジャイルトン・クレーニャ(カーロストヨタ)と小岩健一(トライフォース)の試合はジャイルトンが勝利して小岩のWゴールド獲得を阻止。

JAPANESE OPEN JIU JITSU CHAMPIONSHIP 2022

DATE: 2022年4月16日(土)、17日(日)
VENUE: 墨田区総合体育館(東京・錦糸町)

SJJJF 主催の日本人選手権的な位置づけのジャパニーズナショナルは
2日連続の開催でキッズ&アダルトで激戦が繰り広げられた。

アダルト黒帯でマスター世代の選手が奮闘 アラフィフ・高橋がガード巧者のパウロを破って優勝



アダルト黒帯オープンクラス決勝戦
高橋圭太(パラエストラ小岩)
vs
パウロ・ヤギヌマ(Over Limit BJJ Sapporo)

両者ともマスター世代ながら果敢にもアダルトにチャレンジ。試合は高橋が執念でパスガードし、ワンマッチ決勝戦を制した。



アダルト紫帯ライトフェザー決勝戦
橋本圭佑(フィジカルスペース)
vs
杉浦弘幸(Never Quit)

橋本はART.2、スプリングオープンと連続参戦。この試合ではワンマッチ決勝戦を4-0で勝利し、長かった紫帯を卒業。



アダルト青帯ライトフェザー決勝戦
ジオゴ・タダ(INFIGHT JAPAN) vs
鈴木楓真(マルスジム)

日系ブラジリアンのジオゴはキレのある動きで鈴木を翻弄。次々とポジションを奪いまくって13-0という大差の判定勝ち。

Team Point	Adult	Kids	Master
	1.OVER LIMIT BJJ 2.BJJスタジオSplicing 3.RBアカデミー	1.野武士 2.佛生館 3.マッハ道場	1.Holoimua 2.Over Limit BJJ 3.和術楚舟會大手町道場

U-15 KIDS JIU JITSU TOURNAMENT 2022

DATE: 2022年4月29日(祝)
VENUE: 横浜武道館(神奈川県横浜市)

キッズ柔術家育成に力を入れている SJJJF が新たなキッズ大会を開催。
今大会は 15 歳以下の選手を対象にしたトーナメントだ。

15 歳以下 = 中学生までのキッズ柔術家たちが大集合 元気いっぱいな試合は一服の清涼剤だ



ティーン黄帯ライト決勝戦
菊池鈴央(パラエストラ小岩)
vs
森拓人(トライデントジム)

ガンガン攻めるスタイルが印象的だった菊池はガードからの腕十字極めて一本勝ち。立ってよし、寝てよしのオールラウンダーだ。



ティーン黄帯フェザー決勝戦
水上琥太郎(CARPE DIEM) vs
林悠頼(アンビシャス柔術アカデミー)

グラップリングやレスリングにも取り組む水上は柔術だけでなく組技全般のスペシャリストへと成長中。将来はMMA進出か!?



ジュニアティーン橙帯ミドル決勝戦
須田雄律(スコロピオンジム) vs
河野大樹(X-TREME EBINA)

頻繁に大阪から遠征して大会出場している須田はその経験が結果に表れ始めた。今大会では腕十字を極めて一本勝ちで金メダル獲得。

Team Point	Kids
	1.X-横濱 2.X-TREME EBINA 3.CARPE DIEM MITA

KYUSHU INTERNATIONAL JIU JITSU CHAMPIONSHIP 2022

DATE:2022年5月15日(日)

VENUE:基山町体育館(佐賀県基山市)

SJJJFの重要拠点の1つである九州エリアの定期開催大会。九州はもとより他府県からの参加もあり毎回盛り上がっている。

九州を代表する柔術家たちが大挙参戦

黒帯&女子、ノーギで好勝負続出



ノーギ・アダルト黒帯ミディアムヘビー&オープンクラスでワンマッチ決勝戦2連戦となった西本健治(メフォーゼ柔術アカデミー)と生田堅固(トラスト柔術アカデミー)。試合は西本がWゴールド。



CARPE DIEMの久留米支部で代表を務める井手史竜がアダルト黒帯ライトで優勝。決勝戦で川崎淳平(パラエストラなかかわイデオDOJO)を、初戦で生田堅固(トラスト柔術アカデミー)から勝利している。



九州柔術シーンを代表する女子選手となった高本奈月(TATORU)は女子アダルト紫帯フェザーのワンマッチ決勝戦に挑み、川村竜子(マスタージャパン福岡)から勝利して優勝し、大会後に茶帯となった。

Team Point	Adult	1.CARPE DIEM KURUME 2.パラエストラなかかわ イデオDOJO 3.CARPE DIEM
	Kids	1.メフォーゼ柔術アカデミー 2.TATORU 3.パラエストラなかかわ イデオDOJO
	Master	1.TATORU 2.メフォーゼ 3. CARPE DIEM

NEXUS GAMES JIU JITSU CHAMPIONSHIP - VOL.6

DATE:2022年5月29日(日)

VENUE:ゴールドジムサウス東京ANNEX(東京・大森)

MMAイベント「ファイティングネクスス」とSJJJFのコラボ大会「ネクススゲームズ」はMMAと柔術&グラップリングの複合大会だ。



アダルト紫帯オープンクラスは国際色豊かな顔触れが表彰台に並んだ。優勝はブラジリアンのデヴィッド・ヌネス。準優勝は江口弘晃、そして3位にはアメリカ人のセス・サレットとなった。

インターナショナルマッチが続出し 国際色豊かな柔術家たちが 入り乱れての試合が多数行われた



幅広い年齢層の中で争われた女子のアダルト青帯オープンクラス。ここで優勝したのははまだ10代で現役高校生の高本千代だ。高本は柔術だけでなく他競技にも出場中だ。

Team Point	Adult	1.Impacto BJJ 2.SORA BJJ 3.Urushii Dojo
	Kids	1.CARPE DIEM MITA 2.FREEDAM@OZ 3.ボゴナクラブジム
	Master	1.Urushii Dojo 2.SORA BJJ 3.Impacto BJJ

EAST JAPAN JIU JITSU CHAMPIONSHIP 2022

DATE:2022年6月5日(日)

VENUE:墨田区総合体育館(東京・錦糸町)

SJJJFの関東大会= EAST JAPAN は色帯が中心のフレッシュなトーナメントとなった。

ベトナム在住の日本人・小谷尚孝が一時帰国し大会出場
ここで優勝し悲願の黒帯昇格を果たす



積極的に大会にエントリーするもなかなか優勝できなかった萩原大揮(リラクシンBJJ)がついに戴冠。アダルト紫帯ライトとオープンクラスで表彰台の頂点に立ちWゴールド。



日系ブラジリアン同士の決勝戦を制してマスター2黒帯スーパーヘビーで優勝したランジェル・ホドリゲス(RRT)はクレイトン・マノエル(Impacto Japan BJJ)から勝利しての金メダルだ。



ベトナムからの渡航制限明けで近況参戦した小谷尚孝(オーバerrミットBJJサイゴン)が悲願の黒帯昇格。マスター5茶帯フェザーで優勝し、師匠のエジソン・カゴハラから黒帯を巻かれ歓喜の涙。

Team Point	Adult	1.Impacto BJJ 2.Relaxin'BJJ 3.ストライプ茨城
	Kids	1.野武士 2.X-TREME EBINA 3.マッハ道場
	Master	1.Holoimua 2.Impacto BJJ 3.バラエストラ小岩

TOKYO SUMMER JIU JITSU CHAMPIONSHIP 2022

DATE:2022年7月2日(土)

VENUE:墨田区総合体育館(東京・錦糸町)

夏真っ盛りの中で開催された夏の祭典・トーキョーサマー。SJJJFは春夏秋冬の季節ごとにシーズントーナメントを開催中だ。

日本在住の米兵柔術家が猛威を振るう
ニコラスはギ&ノーギで4つの金メダルを獲得



アダルト紫帯オープンクラス決勝戦はニコラス・ハファーカンブ&ポビー・ヤマシタのチームメイト対決。試合はニコラスが腕十字で勝利しWゴールドだ。2人は佐世保基地の在日米軍柔術家だ。



ニコラスはノーギでも階級&無差別を制してWゴールド獲得でギ&ノーギで4つの金メダル獲得=クアドラプル・ゴールドの快挙。極めも冴え渡っていた。



アダルト青帯でWゴールド獲得の伊集龍皇(バラエストラ小岩)はまだジュブナイルの年齢だがアダルトにエントリーし、階級別1回戦以外の試合は一本勝ちという圧巻の試合内容だった。

Team Point	Adult	1.Oota DOJO 2.バラエストラ小岩 3.OVER LIMIT BJJ
	Kids	1.佛生館 2.CARPE DIEM 3.SONIC SQUAD
	Master	1.バラエストラTB 2.スウェルズ柔術ジム 3.トライフォース

DUMAU INTERNATIONAL 2022

DATE: 2022年7月3日(日)

VENUE: 愛知県武道館(愛知県名古屋市)

今回で18回目の開催となる歴史ある大会「ドゥマウインターナショナル」。今大会は延べ人数で1000人を超す過去最大規模の開催となった。強豪日系ブラジル人が多数参戦。



今大会で圧倒的なパフォーマンスを見せつけたのがカウアン・タニノ(福住柔術)だ。アダルト紫帯のミディアムヘビー&オープングラスの全試合を一本勝ち、しかも1分以内にタップを奪ったのは驚愕だった。

筋骨隆々のカーロス・トヨタ(カーロストヨタBJJ)が久しぶりに試合復帰。見た目通りのパワフルさは健在でマスター5黒帯スーパーヘビーのワンマッチ決勝戦で優勝。



いまやベテランといってもいい加古拓渡(GSB)がアダルト黒帯フェザーのワンマッチ決勝戦で絞めを極めて一本勝ち。相手の動きの先読みしたバックテイクがお見事。



アダルト茶帯オープングラス決勝戦はボンサイ勢でクローズアウト。ライト優勝のギイが優勝で、ミドル優勝のムリーロが準優勝。2人ともこの無差別も全試合を極めて切った。

10 面開催 & 参加人数 1000 人超えの大盛況 日本人 & ブラジリアン入り乱れての熱戦が続く



INFIGHT JAPAN総帥のヘナート・シウバの次女であるハファエラ・アユミがティーン橙帯ライトで優勝。トップゲームの強さはキッズ時代から定評があった。



関西の女子キッズのトップ選手の一人名である山本紗世 (CARPE DIEM ASHIYA) は女子キングガーターン灰帯フェザーで優勝。決勝戦は腕十字で一本勝ち。



ASJJF主催のプロ柔術[ART]でも活躍するエンゾ・イマザト(カーストヨクBJJ)。今大会ではジュニアティーン黄帯ライトで優勝し、いつものながらのアグレッシブスタイルだった。



今大会で茶帯デビューだったギレメル・ナカガワ(ボンサイ)は本来のフェザーではなくライトで出場も問題なし。2試合とも極めて余裕で優勝。



サトシ・ソウザの弟のムリーロ・タケシ・ソウザ(ボンサイ)も茶帯デビュー戦だったが2試合連続の一本勝利。決勝戦はわずか10秒で腕十字を極めて秒殺一本勝ちだった。



アダルト茶帯ライトフェザーはワンマッチ決勝戦で優勝の近藤卓弥(ATLAS JJ)。ポジションの巧みさで安定感のある柔術はパランスのよさを感じさせる。



東京から遠征して出場した大野智輝(CARPE DIEM)はアダルト青帯ルースターで優勝し、決勝戦は送り標絞めで一本勝ち。だが負傷箇所が再発しオープンクラス欠場は残念。



ノーギではアダルト紫帯でWゴールド、ギではフェザーで優勝 & オープンクラスで準優勝の"ドゥンガ"ことベドロ・ナカノ(EVOX JJ)。大会後に茶帯昇格となった。



Impacto BJJ代表のヨースキ・ストーがCORE BJJ JAPANの主力であるセリングロ・キムラから勝利しマスター2黒帯メディアムヘビー優勝。



いつの間にかマスター世代となっていたチャールズ・ガスパー (CORE BJJ JAPAN) はマスター1黒帯ミドルで元チームメイトの2人から勝利して優勝を果たす。



女子アダルト紫帯Wゴールドのヘナータ・ハルミはINFIGHT JAPAN総帥のヘナート・シウバの長女。今大会では次女のハファエラ・アユミとともに金メダル獲得でヘナートも満足げ。



キッズ時代から大会で優勝しまくっていた吉永愛(バラエストラ岐阜)はアダルト青帯になっても快進撃。今大会も一本勝ちの連続でWゴールドを獲得している。

Team Point

Adult 1.Evox Bjj 2.ボンサイ 3.セキタニJJ
Kids 1.Impacto BJJ 2.Evox Bjj 3.ボンサイ
Master 1.Impacto BJJ 2.Evox Bjj 3.Carlos Toyota Bjj

柔術甲子園

DATE:2022年7月16日(土)

VENUE:墨田区総合体育館(東京・錦糸町)

イサミとSJJJFのコラボ企画である「柔術甲子園」。高校生を対象とした「柔術甲子園」とそれ以下の「プレ柔術甲子園」の2本立てだ。

高橋逸樹、柔術甲子園3連覇の快挙 無敗記録を更新中の快進撃



ジュブナイル青帯フェザーは優勝が高橋逸樹(CARPE DIEM MITA)で準優勝がブルーノ・マツモト(INFIGHT JAPAN)。3位には島村和矢(X-TREME EBINA)が入賞し、マイク・オオシロ(カーロストヨタBJJ)は入賞ならなかったがメダルを贈呈された。

ジュブナイル青帯フェザー決勝戦 高橋逸樹(CARPE DIEM MITA) vs ブルーノ・マツモト(INFIGHT JAPAN)

「柔術甲子園」で頭1つ抜けた実力を見せていた高橋は日系ブラジリアンのブルーノをゴジシヨニングで圧倒し、最後は腕十字で一本書ち。



ジュブナイル青帯フェザー1回戦 高橋逸樹(CARPE DIEM MITA) vs マイク・オオシロ(カーロストヨタBJJ)

1回戦でも高橋の試合ぶりは圧巻だった。あっという間にバックを奪うとわずか42秒で送り襟絞めでタップを奪い、決勝戦進出を決めた。



ジュブナイル青帯フェザー3位決定戦 島村和矢(X-TREME EBINA) vs マイク・オオシロ(カーロストヨタBJJ)

今大会で唯一の3位決定戦で勝利した島村。マイクとの対戦を柔道仕込みの力強い寝技で抑え込んで勝利して銅メダルを獲得した。



ジュブナイル青帯ライト決勝戦

川頭呉士(CARPE DIEM)vs高本桂輔(高本道場)

このワンマッチ決勝戦は川頭が腕十字を極めて4:45 一本勝ちで優勝。今大会の優勝者には大会協賛のイサミから副賞としてドーギが贈呈されている。



ジュブナイル白帯ライト決勝戦

濫谷拳輔(CARPE DIEM Sendai)vs大柄蓮(トライデントジム)

濫谷大輔の弟の拳輔が白帯ワンマッチ決勝戦で腕十字を極めて勝利して優勝。兄は自由が丘で、弟は仙台で柔術をやっている。



ティーン橙帯フェザー決勝戦

伊従壮太(X-TREME EBINA)vsヴィンシウス・オガワ(小川柔術)

いまやキッズ柔術家の中で突出した存在となっている伊従が今大会でも優勝。1回戦で腕十字、決勝戦はコムロックを極め優勝。



ティーン黄帯ミドル決勝戦

ユージ・エンドウ(Impacto Japan BJJ)vs富久丈丸(ヤウワヤ)

はるる福岡から遠征して出場した富久とのワンマッチ決勝戦で0-2で敗れてユージ金メダル獲得ならず。



ティーン黄帯フェザー決勝戦

クリスチャン・マツオ(カーロストヨタBJJ)vs川村謙悟(PATO STUDIO)

極めの強さはキッズの中でも随一のクリスチャン。1回戦は腕十字、決定戦は得意技のキムラを極めての優勝。



ティーン黄帯ライトフェザー決勝戦

高本哲至(高本道場)vs鈴木智之(ダムファイトジャパン)

わずか11秒という電光石火の腕十字で一本勝ちした高本は高本ファミリーの次男坊。今大会で家族全員がメダル獲得。



女子ティーン橙帯ライトフェザー決勝戦

藤原佳子(CARPE DIEM MITA)vsニコリー・セキタニ(セキタニJJ)

中部地区で名を馳せるニコリーと東京のトップ女子キッズの藤のワンマッチ決勝戦はサドンスに突入する激戦も、藤が接戦を制す。



女子ジュニアティーン黄帯フェザー決勝戦
桑原結衣(トライフォース東中野)vs
中川輝世羅(CARPE DIEM HOPE)

岐阜から遠征して参戦してきた中川だったが桑原のトップゲームに苦戦。プレッシャーに耐え切れずパスガードを許し3-0で敗北。



女子ジュニアティーン黄帯ライトフェザー決勝戦
アシリー・セキタニ(セキタニJJ)vs
高橋新奈(AXIS)

このワンマッチ決勝戦は延長戦で最後はアシリーの腕十字がハマるも高橋はタップせずだったがレフェリーに止められ敗北。



女子プレティーン黄帯フェザー決勝戦
高本珠緒(高本道場)vs
諏訪遊希(X-TREME EBINA)

高本ファミリーの末娘・珠緒はキティ好きの諏訪のバックを奪うとじわじわとRNCを極めて3:51 一本勝ちで優勝。

ALL JAPAN JIU JITSU CHAMPIONSHIP

DATE: 2022年7月16日(土)、17日(日)

VENUE: 墨田区総合体育館(東京・墨田区)

SJJJF 主催の全日本も5回目の開催となり定着してきた。今大会では総勢 600 人もの選手がエンターテインメントを競っている。



アダルト黒帯フェザーで2試合連続の一本勝ちで圧勝して優勝した横山武司(スウェルズ柔術ジム)。青帯では弟・源太が優勝しており、兄弟そろっての金メダル獲得だ。

アダルト色帯は国内トップ選手が全国から終結 ハイレベルな攻防はまさに全日本だ



アダルト黒帯ライトフェザーのワンマッチ決勝戦、五味良太(X-TREME EBINA)と前田崇佑(PATO STUDIO)は前田が1-0で辛勝。SJJJFルールはペナルティが減点になるため、こういったポイントになる。



名古屋から細川颯(ALMA FIGHT GYM HOMIES)が参戦し、マスター2黒帯ライトのワンマッチ決勝戦で高岡尚裕(トライデントジム)と対戦して勝利した。



大会常連の高本ファミリーのビッグダディ・高本裕和(高本道場)はマスター1黒帯オープンクラスで貫禄の勝利。得意技のカーフスライサーを極めて一本勝ち。



アダルト茶帯オープンはオープンスタイルのみエントリーしたマイケ・オウラ(IGLOO)が優勝。マイケは紫帯でも全日本を制しており、紫帯&茶帯で連覇。



アダルト紫帯オープンはUPRISINGのチームメイト同士でクロウズアウト。青ドギーのシーザー・ゴンザレスが優勝、白ドギーのセス・レットが準優勝となった。



SJJJFの全日本はパラ柔術も毎大会開催している。今大会は青&紫帯ライトヘビーで阿部武蔵と國分勝寿のNCRDねわわ倶楽部の同門対決を行い、阿部が勝利した。



アダルト紫帯ルースターはワンマッチ決勝戦で氏原魁皇(ボンサイ)から勝利した大黒喬士(トライフォース大阪)が2-0で勝利して優勝。大阪vs静岡の顔合わせは全日本ならではの。



昨年はASJJFアジアを制した木村謙太(トライフォース大阪)が今年は全日本を制した。アダルト紫帯ライトフェザー決勝戦で渋谷和樹(高本道場)を4:47 腕十字で極めた。



高杉彪(ALMA FIGHT GYM HOMIES)は昨年は紫帯で、今年は茶帯でライトフェザー級を連覇。村瀬一晃(レナトゥス柔術アカデミー)から絞めを極め、2:26一本勝ち。



“ラバンバ”こと鈴木和宏(トライフォース)はアダルト茶帯フェザーで優勝し、2021&2022の2年連続優勝。2020年は紫帯で優勝しており、3年連続の全日本王者となった。



アダルト茶帯ルースターで優勝した岸田宙大(柔専館)は2020年に紫帯で優勝して以来の2年ぶりの全日本王者。ワンマッチ決勝戦を7-4で制しての優勝だった。



伊集龍皇(パラエストラ小岩)が全日本でアダルト青帯ライトで優勝。SJJJFはジュブナイルの年齢でもアダルトで試合ができるため、17歳でアダルト王者になることが可能だ。



アダルト青帯ライトフェザー決勝戦は横山源太(スウェルス柔術ジム)が石井晴(トライフォース)を破って優勝。横山はAOJでの柔術修行の成果が出せたようだ。



アダルト青帯Wゴールドの佐藤冬唯(草柔会仙台)。階級別はミドルで優勝しており、東北勢の旗手として今後の活躍ぶりにも期待していきたい。

Team Point

- | | | | |
|--------|-------------|------------------|---------------------------|
| Adult | 1. トライフォース | 2. スウェルス柔術ジム | 3. OOTA DOJO |
| Kids | 1. トライフォース | 2. X-Tream Ebina | 3. 佛生館 |
| Master | 1. Cave Bji | 2. R-Blood | 3. Grabaka Jiu-Jitsu Club |

interview

鈴木颯真

SOMA SUZUKI

ほぼ毎大会のように北海道から遠征し、大会出場を続けている鈴木。特に三角絞めでの一本勝ちが多く、ここでは三角絞めへのこだわりなどを聞いた。

——最近成長著しい鈴木颯真選手。毎大会、好成績を取りますね。

ありがとうございます。いつも北海道から遠征して試合出場してるので、なんとか結果を残せてるといった感じですね。

——北海道が拠点になってる点で、大変なことも多いことでしょ。

やはり北海道在住だとどこの大会に出るにも遠征費用が凄くかかるので金銭的な問題が一番のネックですね。時間も労力もかかるし、その分だけ練習時間も減ってしまうので、本当に大変です。

——そういった苦勞がありながらも結果が残せてるのは凄いいことだと思います。

自分の得意なところで戦えるので、それが好成績に繋がってるんだと思います。練習してきたことを試合で出せてるんだな、と実感します。そういうときは東京から北海道に帰るときに充足感に満たされていますね。

——試合では三角絞めでの



極めて勝つことにはこだわりがある

フィニッシュが多いですが、いつぐらいから得意技になったんでしょうか？

三角絞めは柔術を始めた初日に指導者の阿仁鬼さんに「キミに向いてる技だからやってみたら？」と教えて頂いてから、ずっと使っています。言われたとおりをやってみたら、本当に自分に合ってる技だなと感じたので、ずっと磨いていってまでは得意技といえるまでになりました。これは最初に指導者の方に的確なアドバイスを頂けたのはラッキーだったと思います。

——三角絞めへのこだわりなどはありますか？

自分の場合はクローズガードから仕掛けることが多いので

すが、これは1つのことを極めればそれだけである程度のところにまではいけるだろうと思い、あれこれといろんなことをやらずにクローズからの三角絞めに絞って磨いていったことがよかったんだと思います。

——それが三角絞めでのフィニッシュに繋がってるんですね。

自分は三角絞めだけでなく、極めて勝つことにこだわりがあって、ポイントゲームで勝つことは考えてないんです。自分は極めることでしか勝てない、ぐらに考えてるので常に一本勝ちを意識して試合しています。そしていつか出たいと思っているSJJIFワールドでも三角絞めを極めて優勝することが目標です。



S J J I F W O R L D

スポーツ柔術国際連盟主催の世界大会がロサンゼルスで開催された。
 今大会に日本から出場した選手たちは全員がメダル獲得し大いに活躍している。

SJJIFは日本で活動するSJJJF(Sport Jiu Jitsu Japanese Federation = スポーツ柔術日本連盟)、及びアジアで活動するASJJF(Asian Sport Jiu Jitsu Federation)の上位組織で、正式にはSport Jiu Jitsu International Federation = スポーツ柔術国際連盟という。このSJJIFは独自に世界大会を主催しており、それがこのSJJIFワールドだ。初開催当初からカリフォルニア州ロサンゼルスロングビーチを拠点にして大会を開催していたが、一昨年は開催をキャンセルし、昨年はテキサス州デントンのノース・テ

キサス大学で開催している。そして今年はやっと本拠地ともいえるロングビーチに帰還し、ロングビーチ・コンベンションセンターにて華々しく開催された。ここに日本から参戦したエジソン・カゴハラはASJJF会長でもあるため、大規模大会となる国際大会の開催運営の手助けと視察を目的に渡米しつつ、自身のカテゴリーに対戦相手がいたために果敢にも試合にも出場、見事にマスター5黒帯ライトで優勝して金メダルを獲得している。その他にも日本から多数の選手が出場していたが、その選手たち全員がメダルを獲得するとい

う好成績を収め、日本の柔術家たちの技術レベルが世界と比べても遜色ないことを証明したと言っていだろう。

SJJIF ワールド 日本人選手の結果

- 芝本幸司(トライフォース)
アダルト黒帯スーパーフェザー:優勝
- エジソン・カゴハラ
(オーバーリミットBJJ)
マスター5黒帯ライト:優勝
- 田端佑介(バリエストラ千葉)
マスター2黒帯フェザー:準優勝
ノーギ・マスター2黒帯ライト:優勝
- 稲野岳(CUTE)
マスター3黒帯フェザー:2位
- 吉岡崇人(徳島柔術)
アダルト黒帯フェザー:3位
ノーギ・アダルト黒帯フェザー:準優勝



「一つひとつ確実に
勝ちを積み重ねていきたい」

大会があれば出る、という試合大好き男・谷口は優勝の数こそ多くはないが、ほぼ毎大会で表彰台には立っている。その甲斐あって2021年の青帯1位に輝いた。

——2021年の青帯ランキング1位おめでとうございます。

ありがとうございます。いつも勝ったり負けたりばかりなんですけど、それでもあきらめずにずっと試合に出続けてよかったな、と実感しています。凄く嬉しいです。

——谷口選手はあまり優勝の回数は多くないですが、いつも大会に出て、そして表彰台に立っているのは印象に残ります。そしていつもギダだけでなくノーギにも出ています。

個人的には試合するのが好

きなもので、試合のチャンスがあればギもノーギもこだわらずにエントリーしていますね。

——谷口選手と言えばハーフガードというようにすでに自身のスタイルが完成しつつあるように感じますが、それについてはどうでしょうか？

ハーフガードは白帯の時から使ってます。柔術を始めた当初から使い始めて徐々に得意技になってきたという感じですね。YouTubeで岩崎正寛さんの「DEEP HALF CLUB」をよ



ASJJF JAPAN RANKING 2021 青帯1位

MINORU TANIGUCHI

谷口 実

く見て、とても参考になりますね。

——あと谷口選手には「ミノルロック」という自身の名を冠した必殺技もありますね。

あの技は普段の練習の時にディープハーフからのコンビネーションで思いつき、練習で試して使えたので試合でも使うようになりました。が、ルールの柔術の試合では使えないので、いまは足関節技がフリーになるグラップリングマッチでのみ使うようにしています。

——これからの目標を教えてください。

紫帯でしっかり勝てるようになることと、足関節技がフリーになるグラップリングマッチにもどんどん出ていきたいです。そしてそこで使える「ミノルロック」を磨いていき、さらなる得意技にしていきたいですね。まずは目の前にある大会にたくさん出て、1つ1つ確実に勝ちを積み重ねていきたいです。

——では狙うはランキング1位の連覇ですね。

もちろんそれは狙っています。2021年に続き、2022年もランキング1位になれるように、どんどん試合に出ていきたいと思っています。

ART

ASJJF ROLLING TOUR



A ^{エー・アール・ティ} SJJF主催のプロ柔術「ART」は昨年末の2021年12月26日に東京・大久保のGENスポーツパレスで旗揚げ戦が開催された。ここでは有観客、実況&解説付きのライブ配信、そして自身が選んだ入場曲、さらに各試合ごとのカード画像といったプロ大会ならではのフォーマットが大好評だった。そして今春、3月26日に同じくGENスポーツパレスで2回目の大会を開催し、さらに「ART」のプロアママッチとして一般参加可能な「ARTチャレンジ」の第一回大会も同時開催している。この「ARTチャレンジ」はプロ柔術「ART」のフォーマットで試合ができるということで、好奇心旺盛なアマチュア選手たちがこぞって参戦し、「ART」ともども

盛況のうちに大会を終えている。そんな「ART」および「ARTチャレンジ」が満を辞して今秋に再び開催される運びとなった。次回はこれまでとはリニューアルし、無観客&配信オンリーで、会場も東京・代々木のミューズ音楽院ホールでの開催となった。これまで通りにプロ柔術の「ART」はインビテーションのみのプロマッチで、セミプロ大会の「ARTチャレンジ」は一般参加可能となっている。日程は「ART.3」が11月13日の日曜日の夕方で、「ARTチャレンジ.2」は11月12日の土曜日、「ARTチャレンジ.3」は11月13日の日曜日の午前からの開催となっている。「ARTチャレンジ」の出場枠には限りがあるため、出場希望選手は早めの申し込みをオススメする。



ART CHALLENGE 2
2022.11.12(Sat)



ART 3 / ART CHALLENGE 3
2022.11.13(Sun)





株式会社イサミ 代表取締役社長

磯 毅寛

1932年創業、様々な武道・格闘技用品の製造と販売を行う株式会社イサミ3代目社長である磯毅寛。自身が発案しメインスポンサーを務める柔術甲子園にはイサミの理念、そして青少年育成に懸ける思いとがあった。

— どうして柔術甲子園を始められたのか、まず経緯から教えてください。

僕は2001年にブラジルのムンジアルへ行ってから柔術に携わるようになって20年が経ちました。元々イサミにはアマチュア競技で、なおかつ子どもたちが一生懸命やっている競技を応援したいという理念があって、友人の橋本欽也さんを通じてス

ポーツ柔術連盟の村田会長をご紹介頂き、会社として何か一緒にできることはないかと考えただんです。

――ISAMIの理念とSJJJFの出会いが柔術甲子園誕生に繋がったのですね。

一番最初の競技者、未来あるところから応援していかないと格闘技の人口だだに繋がらないので、そういうところを応援したいという気持ちがありました。それで村田会長を紹介して頂いた際に、自分も子どもの大会や子どもたちに対する後援だだたりを生涯通してやりたいという話をして是非やりましょうと。日本ブラジリアン柔術連盟とも長い付き合いなので応援していますが、あちらは国際ブラジリアン柔術連盟の傘下でやっていて、なかなか日本独自のものをやることできないところもあります。それでこちらの連盟で未来ある子どもたちのため、ブラジリアン柔術の土台作りに協力していきたいと思って、それで始めました。名前は高校生の大会ですし「柔術甲子園」っていうのが分かりやすいかなって(笑)。
――「甲子園」は高校年代の日本一決定大会を表す固有名詞となっています。

ただ、いかんせん高校生が少ないんです。中学まで続けても、高校で部活に入って柔術を辞めちゃう子が多いので残ってほしいし、そのままアダルトに行ってほしいです。

――キッズ以降、若い世代の

参加が少ないのが柔術の課題の一つです。

やっぱりその層を残していかないと世界チャンピオンだったりはできないじゃないですか。目標になるところがないと続かないっていうのもあるので「柔術甲子園」をやって、最初は高校生以上しかやらなかったんですが、「プレ柔術甲子園」という形で高校生以下の年代も全部対象にしています。

協柔子未 力術ど来 しのもあ てのたる い台ち き作の たりた いにめ、

――高校生だけでなく広くそれ以下の年代の育成を目的にしているのですね。

学校は集団生活を学ぶ場ですけど、道場は同じことを目的に集まった違う子たちと学ぶことができる場だと思います。1人では強くなれない、練習相手がいるから強くなれるし、そういった中で子どもたちがいろんなことを経験していってくればいいなって。武道・格闘技は青

少年育成や地域貢献に繋がることなので、ぜひブラジリアン柔術をどんどん広めていってほしいです。

――柔術甲子園の今後についてお願いします。

強い子どもたち、世界でも通用する子たちを作るために、アマチュア修斗のようにフレッシュマンがあって東日本や西日本があって全国大会がある、そういうしっかりしたピラミッドを作っていきたいです。スポーツ柔術連盟では子どもと親の大会を分けていなくて、家族と一緒に参加できるのもすごくいいと思ってます。あとは一般企業やスポーツに関わる企業もどんどんスポンサーを募って、大会の後援についてもらっているところです。子どもに携わる企業にスポーツ柔術の後援について頂ける体制をしっかりと作りたいと思っています。

――しっかりしたピラミッド構造で強さを目指す大会にしていきたいと。

どんどんよくして、親御さんも出してよかったと思える大会に今後も努力していこうと思ってます。あと会長からのリクエストで、例えば優勝した時に学校から表彰して頂きたいというのがあって、学校にメダルや盾を送って、学校でも評価して頂けるようにいこうと思っています。理解のある学校も中にはあると思うので、どんどん大会を開きながら、そういうことも考えてやっていきたいです。

X-TREME EBINA 代表

柳澤哲裕

2012年にキッズ部門を設立して10年、X-TREME EBINAは幾多も団体優勝・入賞を遂げキッズの強豪チームとして名を馳せてきた。思いがけず始まったそのきっかけ、指導において心掛けていることを柳澤哲裕代表に聞いた。

— X-TREME EBINAではキッズクラスに力を入れられていますね。

始めてちょうど10年になって、今キッズは70～80人います。道場を作った時に空いた時間をレンタルする形で別の方が子ども柔道教室をやっていたんです。でも、その方が都合でできなくなって“もし引き続き柔術



をやるようであればキッズクラスを作ってやりますよ”みたいな感じがきっかけでした。それで付き添いで来た親御さんに授業参観形式で練習も見てもらって、そのうち親御さんも柔術をやってみようかみたいな形になって、子どもきっかけで結構会員さんが増えていったんです。

――キッズクラスが会員さんの呼び水になったと。

僕自身子どもはそんなに得意じゃないというか苦手な方で(苦笑)。でもそれで思いがけず始めて、実際接してみたら子どもたちもかわいくて、子どもに対する苦手意識がなくなってきました。子どもの教え方は誰からも聞いていなかったの、いろんな本を読んだり自分で学びながらやっていきました。

――どういった本を参考にしたのですか？

コーチングの本ですね。こういう状態の時はこういう風に接した方がいいですよ、こういう風にやる気を灯せますよっていうのが書いてある本で、それを柔術風にアレンジしていった感じです。あとはネットに出ている学校の先生の話とかを見て、子どもの現場で働かれている方の意見を参考にしました。

――子どもを指導する上での工夫や気をつけていることがあれば教えてください。

僕自身は昔剣道をやっていて、必要以上に厳しくて全然楽しかった記憶がないんです。なのでそんなに厳しく言わず、最

低限挨拶してればいいよっていう大人のスタンスと一緒にやっています。でもテクニックの説明をする時だけは私語をさせないでしっかり聞く、集中させてます。真面目に聞きたい子もいるので、そこで騒いだり話をしたりして他の子に迷惑を掛けない、そういう空気感を作っています。

――団体優勝・入賞も多数ですが、その秘訣はどこにあるのでしょうか。

子どもでも テクニックを駆使して 一本取れる柔術を 練習しています

子どもって腹筋・背筋とか首の筋肉がまだできていないので、起き上がる動作が苦手な子が多いんです。試合を見ると、上を取って固めた方が勝ちみたいなそういうのが大会でも多くて、柔道やレスリング、立ち技系の練習を入れればその辺の問題は解消できるんですけど、僕は弱い人でも力の強い人や大きい人に勝てるのが柔術の魅力だと思っています。なので子ども

でも丁寧にテクニックを駆使することで一本取れるような柔術、下からのガードや抑え込まれないで逃げる、逃げた先にクローズガードで固めて極めるとか、そういったフィジカルに頼らない練習をしています。

――下からの展開をしっかりと指導・練習するのは道場のこだわりでもあるのですね。

いま柔術と並行してキッズMMAとかキッズ修斗に出てる子もいるので、将来そういう子たちがMMAの試合に出たいということがあれば、そっちの方面に進めてあげるのもいいかな、いろんな選択肢を考えてやっていこうと思っています。そういうのをこちらからやりなさいっていう訳じゃなく、挑戦したいって子がだんだん自然と増えてきて、全部流れに任せてやっている感じです(笑)。

――今後の意気込みをお願いします。

在籍しているお子さんや親御さんたちがちゃんと満足してもらえる、そういうジム・道場を日々運営していきたいと思えます。試合に出たい子がいれば全力でサポートしますし、出たくないけど護身的なところでやりたい子がいれば、ちゃんとできるようにするという事です。何か目標を持ち込んでくれたら、それに向かって頑張ろうみたいな感じになると思います。せっかく縁があって来てくれているので、何とか満足してもらいたいなど、そんな形でやっています。

大会へのエントリーの方法

Registration

SJJJFの大会に出場したいけど、エントリーの仕方がイマイチわからない！
という人のためにここではSJJJF主催大会のエントリー方法を紹介します。

ここではPCからのやり方を説明しています



STEP 01 SJJJFまたはASJJFのホームページを開きます(どちらのサイトに行っても構いません)。



STEP 02 出場したい大会の「大会概要・エントリーページ」をクリック。



STEP 03 大会明細の記載内容を確認後、赤枠で囲まれた「エントリー申込」のどちらかをクリックします。



STEP 04 大会申請者の誓約を確認、同意したら「上記内容に同意します」にチェックを入れ、「同意する」をクリック。



STEP 05 会員未登録の方は「アカウント登録」からオンライン会員登録をする必要があります。



STEP 06 個人情報の記入、所属団体を選択^{*1}したら「イベントカテゴリ」をクリック。



STEP 07 年齢カテゴリ、階級、無差別級参加の有無にチェックを入れたら、支払い方法を選択し、「申し込み」をクリック。



STEP 08 登録アドレスにメールが届きますので、記載されている支払い期日までに参加費のお支払いを済ませてください。



STEP 09 参加費のお支払い後は各大会の「参加者一覧」からご自身のお名前があらかるかご確認ください^{*2}。

ASJJF 主催大会に出場する場合

ASJJFが主催するASIAN OPENなどに出場する場合は、登録時にご自身の写真と、写真付きIDの登録、また黒帯の場合は帯の履歴を記載する必要があります。



登録する写真は上半身裸、帽子やサングラスを着用したもので、全身が写っているもの、2名以上の人物が写っているものは使用できません。

※1: 団体一覧に所属団体名が掲載されていない場合は、代表者に団体登録を行っていただく必要があります。
※2: 参加費支払いの確認が取れ、エントリーが反映されるまでお時間をいただく場合があります。

SJJJF Upcoming Events 2022 August-November

SJJJF では今後も多くのイベントを予定しております。
詳しくは ASJJF または SJJJF の HP をご参照ください。



**SOUTH JAPAN
JIU JITSU
CHAMPIONSHIP 2022**
佐賀県
基山町総合体育館
8月28日(日)



**SOUTH JAPAN NO-GI
CHAMPIONSHIP 2022**
佐賀県
基山町総合体育館
8月28日(日)



**the 2nd
reversal jiu jitsu cup
2022 in sapporo**
北海道
北ガスアリーナ札幌46
9月25日(日)



**chugoku open no-gi
championship 2022**
山口県
岩国市総合体育館
10月2日(日)



**chugoku open
jiu jitsu
championship 2022**
山口県
岩国市総合体育館
10月2日(日)



**Asjif Asian Open
No-gi Championship
2022**
愛知県
青山記念武道館
11月5日(土)、6日(日)



**Asjif Asian Open
Para Jiu Jitsu
Championship 2022**
愛知県
青山記念武道館
11月5日(土)



**Asjif Asian Open
Jiu Jitsu
Championship 2022**
愛知県
青山記念武道館
11月5日(土)、6日(日)



ART CHALLENGE.2
11月12日(土)



ART CHALLENGE.3
11月13日(日)



ART.3
11月13日(日)



**KYUSHU
INTERNATIONAL OPEN
NO-GI
CHAMPIONSHIP 2022**
佐賀県
基山町総合体育館
12月11日(日)



**KYUSHU
INTERNATIONAL OPEN
JIU JITSU
CHAMPIONSHIP 2022**
佐賀県
基山町総合体育館
12月11日(日)

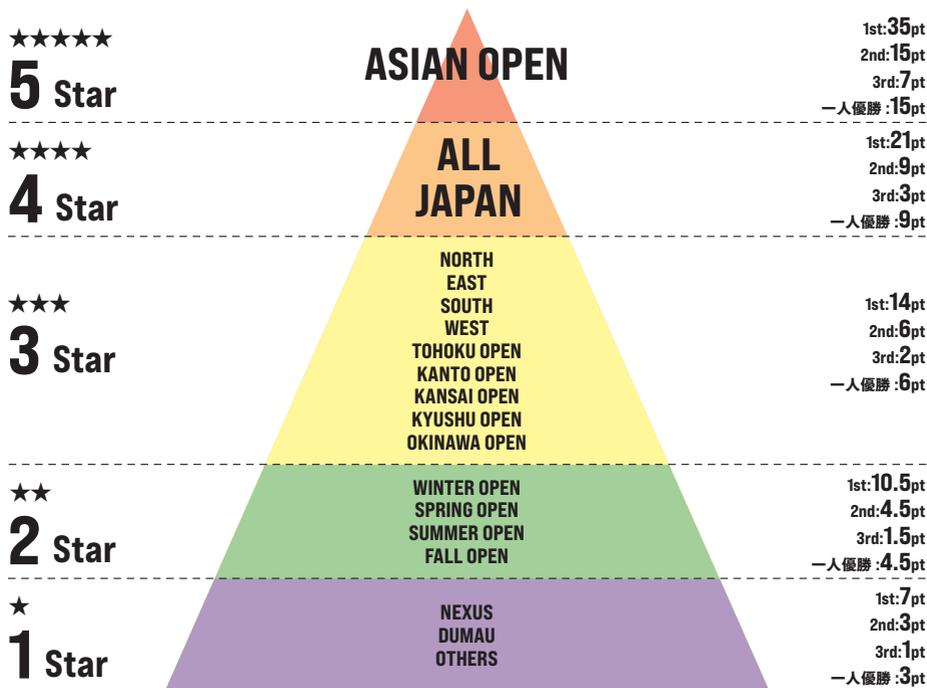
ASJJF、SJJJF のホームページはこちらから



JAPAN RANKING 2022

ASJJF ではポイント制による年間ランキングを設けており、成績優秀者には表彰や翌年度の大会の出場費免除などの特典が与えられます。

大会のグレードと獲得ポイント数



A SJJFならびにSJJJFが主催、または提携する大会にはランキングポイントが定められており、入賞者には大会の格付けに応じたポイントが与えられます(上図参照)。ポイントは一年を通じ、獲得するごとに積み重ねられ、ポイント

数によるランキングが制定されます。ランキングは各カテゴリで設けられ(帯別、性別、年齢別)、成績優秀者^{*1}には表彰、さらに各カテゴリのランキング1位の選手には、2023年に日本国内で開催されるASJJF、SJJJF主催大会への参加費用

が免除される特典^{*2}もありますので、皆様には奮って大会へご参加いただきたいと思います。

なお、2022年度のランキングは2022年1月以降開催される大会から対象となりますので、お間違えのないよう詳細はASJJFのHPでご確認ください。

^{*1}:各カテゴリには最低獲得ポイントが定められており、これを超えた選手のみの適用となります。
^{*2}:150ポイント以上を獲得したランキング1位の選手が対象。

東京イサミ

〒160-0022

東京都新宿区新宿4-2-21 相模ビル4F

☎03-3352-4083

FAX.03-3352-4084

定休日 毎週火曜日 営業時間 11:00▶20:00

HPはこちら→

東京イサミ 

横浜イサミ

〒221-0835

神奈川県横浜市神奈川区鶴屋町2-20-2 田代ビル5F

☎045-594-8394

FAX.045-314-4400

定休日 毎週水曜日 営業時間 11:00▶20:00

HPはこちら→

横浜イサミ 

名古屋イサミ

〒460-0008

愛知県名古屋市中区栄3-19-17 丸喜ビル3F

☎052-251-5872

FAX.052-251-5873

定休日 毎週火曜日 営業時間 11:00▶19:00

HPはこちら→

名古屋イサミ 

大阪イサミ

〒556-0011

大阪府大阪市浪速区難波中3-1-17 角屋難波ビル4F

☎06-4396-7732

FAX.06-4396-7733

定休日 毎週火曜日 営業時間 11:00▶20:00

HPはこちら→

大阪イサミ 

神戸イサミ

〒650-0012

兵庫県神戸市中央区北長狭通3-12-15 ゴールドウッズアロードビル7F

☎078-392-0260

FAX.078-392-0261

定休日 毎週水曜日 営業時間 11:00▶20:00

HPはこちら→

神戸イサミ 

福岡イサミ

〒810-0001

福岡県福岡市中央区天神3-3-7 天神応順ビル6F

☎092-715-3787

FAX.092-715-3788

定休日 毎週火曜日 営業時間 11:00▶20:00

HPはこちら→

福岡イサミ 

全店舗
配信中

LINEの友だち登録で
おトクな情報をゲットしよう!

—— 全国6店舗 LINEの友達登録は下のバーコードから! ——



東京イサミ



横浜イサミ



名古屋イサミ



大阪イサミ



神戸イサミ



福岡イサミ

※画面はイメージです。



お近くの店舗に友だち登録してお得な情報をゲットしてください!

JIU JITSU TODAY

【発行】



Asian Sport Jiu-jitsu Federation